

〈第一部〉SGH調査結果報告 ※言語（日本語）

SGH調査結果の概要 筑波大学ビジネスサイエンス系教授 永井裕久  
 独立行政法人統計センター理事長 椿 広計  
 アクティブラーニング授業上映（ビデオ資料）  
 指導講師による解説（学習の狙い、授業構成、レッスンポイント）と授業風景  
 筑波大学ビジネスサイエンス系准教授 木野泰伸

パネルディスカッション

司 会：筑波大学附属学校教育局次長 松本末男

登壇者：SGH研究班高校教諭

お茶の水女子大学附属高等学校教諭 津久井貴之

玉川学園高等部教諭 上村雅明

東京学芸大学附属高等学校教諭 日渡正行

東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭 杉本紀子

東京工業大学附属科学技術高等学校教諭 遠藤信一

筑波大学附属高等学校教諭 曾根典夫

筑波大学ビジネスサイエンス系准教授 礪波亜希

筑波大学ビジネスサイエンス系教授 永井裕久

①コメンテーター 筑波大学ビジネスサイエンス系准教授 礪波亜希

②SGH研究班高校教諭からの調査結果、アクティブラーニング授業への感想

③各校のSGHプログラムにおけるアクティブラーニング紹介

④質疑応答

〈第二部〉指定校報告

平成26年度指定校による8分科会（研究報告・実践報告・ディスカッション）

<b>【2610】筑波大学附属坂戸高等学校</b>	
題 目	海外校との協働プロジェクト開発とSGH校間の連携について
キーワード	国際連携協定、アセアン、中間支援、SGH校生徒成果発表会、現職教員派遣制度
<b>【2629】長野県長野高等学校</b>	
題 目	「地方・公立・全員」の挑戦
キーワード	個と協働、地域課題、校内資源、成長段階
<b>【2633】名城大学附属高等学校</b>	
題 目	生徒の資質変容の定量的評価
キーワード	評価手法、PDCAサイクル、リフレクションラーニング、成長実感の要因
<b>【2638】立命館宇治中学校・高等学校</b>	
題 目	ネットワークを生かした国際化への歩み（SGHの取り組み）
キーワード	1. ローカルからの国際化 2.アントレプレナー教育を通じた国際化 3. 東南アジアとの連携を通じた国際化
<b>【2641】大阪府立三国丘高等学校</b>	
題 目	①課題研究と海外フィールドワークの関連付けと海外連携方法 ②ルーブリックを使用しない評価方法の開発
キーワード	留学支援、自己評価と他者評価、マッキンゼー、プレゼン指導ほか生徒が大きく成長した 企画紹介、3年生の進学指導状況
<b>【2648】島根県立出雲高等学校</b>	
題 目	全校で取り組むSGH
キーワード	全校指導体制、グループ研究、多様な能力評価、教科のSGH化、外部機関との連携
<b>【2650】広島女学院中学高等学校</b>	
題 目	広島女学院の挑戦～内と外、両輪で改革を進める試み
キーワード	組織づくり、教員集団の意識の変容、生徒のアウトカム・アウトプット、国内外研修、 高大連携
<b>【2653】愛媛県立松山東高等学校</b>	
題 目	松山東高校におけるSGH事業の取り組みと今後の課題
キーワード	ALL愛媛、高大連携課題研究、East CLIL、SGHレガシー